土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　本谷地区　測量地質調査設計業務委託（急傾斜地崩壊対策・交付金）

事業名 または 工事名

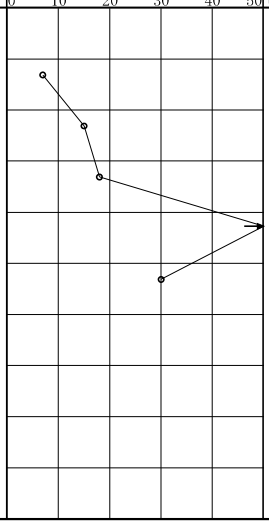
調査目的及び調査対象　その他 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.3	**調査位置**	広島県庄原市口和町金田			**北緯**	34° 52′ 1.8896″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2022年 11月 4日 ～ 2022年 11月 7日	**東経**	132° 54′ 10.9396″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 233.40m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 37°
総削孔長	6.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦D1-C
							エンジン ヤンマーNDF-13　**ポンプ** 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	231.80	1.60		シルト質砂		黒灰	rd2			木根多く含む有機質土。 細砂を主体とし，シルト分少量含有する。	
2 3	229.60	3.80		強風化流紋岩		暗黄灰				強風化流紋岩。（礫質土） 風化著しく土砂状で採取。 流紋岩の組織をわずかに残す程度。	
4 5	227.70	5.70		強風化流紋岩		暗茶灰				流紋岩強風化十（礫質十）。 コアは主に土砂状～礫状で一部短柱状。 短柱状で採取される流紋岩は硬質であるが，亀裂面は風化が進み褐色となる。	
6	227.40	6.00		風化流紋岩		暗青灰				流紋岩。軟岩II。CL級。 コアは短柱状で採取。石英や長石の斑晶が多い。 コア表面は概ね滑らか。 亀裂面は風化が進み褐色となり，亀裂間は土砂がわずかに流入。 ハンマー打撃で鈍い金属音。	
7 8 9											

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15 / 1.45	1	2	4	7/300		
15	2.15 / 2.45	5	4	6	15/300		
18	3.15 / 3.45	5	5	8	18/300		
68	4.15 / 4.37	22	23	5/20	50/220	220	
30	5.15 / 5.45	15	7	8	30/300		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.15 / 1.45	P3-1	⊖			
2.15 / 2.45	P3-2	⊖			
3.15 / 3.45	P3-3	⊖			
4.15 / 4.37	P3-4	⊖			11/4
5.15 / 5.45	P3-5	⊖			11/7